



Cambridge International AS Level

CANDIDATE
NAME

--

CENTRE
NUMBER

--	--	--	--	--

CANDIDATE
NUMBER

--	--	--	--

JAPANESE LANGUAGE

8281/02

Paper 2 Reading and Writing

October/November 2022

1 hour 45 minutes

You must answer on the question paper.

No additional materials are needed.

INSTRUCTIONS

- Answer **all** questions in **Japanese**.
- Use a black or dark blue pen. Do **not** use an erasable pen or correction fluid.
- Write your name, centre number and candidate number in the boxes at the top of the page.
- Write your answer to each question in the space provided.
- Do **not** write on any bar codes.
- Dictionaries are **not** allowed.

INFORMATION

- The total mark for this paper is 70.
- The number of marks for each question or part question is shown in brackets [].

指示

- **全ての問題に日本語**で答えなさい。
- 黒または、こい青のペンを使うこと。消すことができるペンや、修正液は**使わないこと**。
- このページの上のほうにある空欄に氏名、センター番号、受験者番号を書きなさい。
- それぞれの問題に対する解答は、与えられた解答欄に書きなさい。
- バーコードには何も**書かないこと**。
- 辞書を使つてはいけません。

情報

- この試験の合計点数は**70点**です。
- 各問題の配点は [] に示されています。

This document has **8** pages.



セクション1

次の**文章**を読んで、**もんだい1、2、3**に答えなさい。

文章1

ジャムで島を元気に

山口県の周防大島の人口は今、1950年ごろの三分の一にへってしまいました。本川さんは10年前にこの島に **(a)** 移住し、ジャム屋を始めました。

この島の特産物はみかんですが、とても小さいはたけで育てるので、それぞれのはたけでは味がちがいます。普通、食品工場に売するためには、なるべく同じ物をたくさん作ります。以前、島のみかんは小さすぎると、**(i)** すてられていました。でも本川さんは、「ジャムは、なるべく小さい **(b)** なべで少しずつ作るほうがおいしい。同じ物をたくさん作るのではなく、商品をしゅるい多く作ればいい。あまくても、あまくななくても、それぞれのみかんの個性をひき出すジャムを **(ii)** 作ってみよう。」と考えました。

2007年に店を始めたとき、年間3万3千本ほどのジャムを作りましたが、今は店員を30人もやとって、一年に15万本のジャムを作っています。ジャムも170しゅるい以上ありますが、すべて **(c)** 季節限定です。

ジャムは1つ155gのジャムのねだんは700円前後。**(iii)** 決して安くありません。でも、「きちんとした物を作れば、それにお金を出してもいいと考える人は **(iv)** いるんです。」と本川さんは説明します。たしかにスーパーのほうが安いですが、本川さんの店ではサービスもしっかりしていますから、今はファンがふえてきました。また、「地元のみかんを使って、ここにしかない商品を作ることが大切だと思います。島にもっと **(d)** 起業する人がふえれば、島をはなれない若者もふえるだろう。」と本川さんは話していました。

本川さんは、島の中学校に行き、新しい会社の始めかたを教えています。生徒はまず作りたい食べ物を考え、グループになって会社を作り、自分たちの会社に名前をつけます。そこまでは楽ですが、商品を作る前にお金が必要になるので、どこから借りられるか、本川さんといっしょに考えます。作った食べ物は文化祭などで売りますが、本川さんは、広告のデザインのそうだんにものります。まとめの授業では、お金を作ることのつらさや楽しさについて本川さんと話し合います。

この授業は **(e)** キャリア教育の先生といっしょに計画しましたが、その先生は、「かちを発見すれば仕事が生み出せます。これは世界中どこでも同じです。生徒たちに自分の興味をいかせば仕事は自分で作れることを教えたいです。また、地元のよさを仕事につなげて、島を **(v)** はなれないで明るい未来を作り出してほしいです。」と話していました。

もんだい 1

(a)~(e)のことばはどういう意味ですか。最も近いと思うものに○をつけなさい。

(a) 移住 いじゅう

1 ひっこすこと

2 帰ること

3 育つこと

[1]

(b) なべ

1 これざいりょうで材料を切ります。

2 これでできあがった料理を食べます。

3 ここざいりょうに材料を入れて、料理を作ります。

[1]

(c) 季節

1 春、夏、秋、冬

2 北、南、東、西

3 百、千、万、おく

[1]

(d) 起業

1 授業を教える

2 会社を始める

3 もんだいを起こす

[1]

(e) キャリア

1 人の体せいちょうの成長

2 人の思考の発達

3 人の仕事けいれきの経歴

[1]

[合計点: 5]

もんだい 2

文中の (i) ~ (v) のひょうげんを使って、文を作りなさい。本文と同じ文を書いてはいけません。

例 ^{れい} ~によると： 天気よほうによると、あしたは雨だ。

(i) ~られる (5行目)
..... [1]

(ii) ~てみる (8行目)
..... [1]

(iii) けっして.....ない (12行目)
..... [1]

(iv) ~んだ (13行目)
..... [1]

(v) ~ないで (25行目)
..... [1]

[合計点: 5]

もんだい 3

ぶんしょう
文章1を読んで、下のしつもんに日本語で答えなさい。本文をそのまま書き写してはいけません。

([] 中の数字がそのもんだいの点数です。正しい日本語を書いたら、さらに、最高5点まで点数が上がります。合計点 : $15 + 5 = 20$)

(a) 島のみかんは、どうして食品工場に売りにくかったですか。文中から2つ書きなさい。

.....
..... [2]

(b) 本川さんのジャム作りには、どんなとくちょうがありますか。文中から3つ書きなさい。

.....
.....
..... [3]

(c) 本川さんはどんな考えを持って店をけいえいしていますか。文中から3つ書きなさい。

.....
.....
..... [3]

(d) 本川さんは、どうやって中学生を手伝てつだいますか。文中から4つ書きなさい。

.....
.....
.....
..... [4]

(e) キャリア教育の先生によると、仕事を生み出すためには、どうするといいいですか。文中から3つ書きなさい。

.....
.....
..... [3]

[合計点: 20]

セクション2

次の^{ぶんしょう}文章を読んで、**もんだい 4、5**に答えなさい。

^{ぶんしょう}
文章2

外国人むけ料理教室をオープンしました

外国に住んでいるときから、日本へ帰国したあと、どうしようかと考えていました。とくに海外に住んで英語が上達したのに、帰国して使わなければわすれてしまうかもしれないと心配でした。そんなとき、日本の友だちから、「前にレストランで働いていたでしょう？それに、友だちに日本料理を作ってあげていたでしょう？日本食レストランを始めたらどう？」というメールが来ました。世界文化いさんに登録された今、日本料理はおいしいと海外で注目を集めています。また、けんこうによいというひょうばんもあります。だから、帰国してから、外国人むけの日本料理教室を開こうと決めました。

5

教室を開く前に、レシピの作りかたを英語でどう説明するか考えました。これはかなり大変な作業でした。料理の本は持っていました、^{ようぐ}用具は全部買いに行きました。一番時間がかかったのはウェブサイトの^{さくせい}作成でした。

10

今日も生徒さんが料理を習いに来て、にぎやかなレッスンをしました。もちろん生徒さんはどの国の方でもかんげいですが、今日の生徒さんはドイツ人だったので、ヨーロッパの思い出で話はずみました。

レッスンの^{とちゅう}途中で生徒さんがおもしろいことを言いました。「食べ物を知ることは、その国を知ることだ。」たしかにそうですね。^{たと}例えば、私はケーキをこがした^{おうさま}王様の話を通して、イギリスの^{でんせつ}伝説を知りました。外国の食べ物を食べると、その国の料理が自分の口に合うか、一番先に考えてしまうことがあります。でも、これを聞いて、私もフランスパンを食べて、フランスの歴史を知ったことを思い出しました。

15

生徒さんは、はしの使いかたは知っていましたが、すしの歴史についてしつもんされて、日本人の私も勉強しなければなりません。日本語を学習している生徒さんは、「味つけのさ、し、す、せ、そ」にも^{きょうみ}興味を持っていました。

20

料理教室は、外国人とも知り合いになれるし、勉強になることも多いので、とても楽しいです。

もんだい 4

文章^{ぶんしょう}2を読んで、下のしつもんに日本語で答えなさい。本文をそのまま書き写してはいけません。

([] 中の数字がそのもんだいの点数です。正しい日本語を書いたら、さらに、最高5点まで点数が上がります。合計点 : $15 + 5 = 20$)

- (a) 作者は、外国人むけ日本料理教室を開くのにやく立つ^{けいけん}経験やちからを持っていました。それは何でしたか。文中から3つ書きなさい。

.....

 [3]

- (b) 和食は今どんな理由で世界中で知られてきていますか。文中から3つ書きなさい。

.....

 [3]

- (c) 作者は、料理教室を開く前に、どんなじゅんびをしましたか。文中から3つ書きなさい。

.....

 [3]

- (d) この日の授業はどんな様子でしたか。文中から2つ書きなさい。

.....
 [2]

- (e) 作者が食べ物を知って、その国を知った例^{れい}には、どんなものがありますか。文中から2つ書きなさい。

.....
 [2]

- (f) 作者は料理を教えながら、日本文化のどんな事も教えますか。文中から2つ書きなさい。

.....
 [2]

[合計点: 20]

